

教育センターニュース

# ミネルバ

109号

佐賀県教育センター <http://www.saga-ed.jp/>  
〒840-0214 佐賀県佐賀市大和町大字川上  
Tel 0952-62-5211 Fax 0952-62-6404

## 特集記事

- 教育講演会
- 公開講座報告
- 特色ある学校の紹介 (パートII)
- 教育センター知っ得情報



## 平成20年度 教育講演会

『学ぶ子ども、働く若者を育てるために  
—学びへの欲望をかきたてる先生とは—』

うちだ たつる  
神戸女学院大学 教授 内田 樹 先生

8月1日にアバンセホールにおいて、内田樹先生の講演会を開催しました。

### — 講演要旨 —



生きる力をもつ子どもとは、何でも食べる子、どこでも寝ることができる子、だれとでも友達になれる子だと考える。しかし、現在の日本の子どもたちを見ると、だれとでも友達になれる能力、つまり「共生する能力」が脆弱になっている。また、身体感受性も鈍くなっており、自分の周囲で何が起きているのか感知できない子どもたちが増えているようだ。

さらに、子どもたちを取り巻く社会に目を向けると、凶悪事件が多発したり、社会構造が流動化したりするなどして、何が起ころか分からない様相を呈している。このような中では社会性を身に付け、正しく判断する力をもって、たくましく生き抜くことが求められている。

また、社会全体が成果を数値化して評価する傾向が強まっている。教育の分野においても、様々な教育効果を数値化し、評価していく傾向にある。しかし、数値化して評価できるものは、全体から見てほんの一部であり、その評価で全体像を把握することはできない。もっと、子どもの多様性を認め、育てることが大切である。

このような現状の中、学校教育の果たす役割は大きく、特に子どもの前に立つ教師は「子どもたちの手本となる大人」になることが重要であり、子どもたちに「他者を認め、他者と共生することの大切さ」を常に伝えていく必要がある。今までの経験や慣習にとらわれることなく、独創的なやり方でアクティブに行動してほしい。

### — 参加者の声 —

- ・ 共生する力が弱くなっていると聞いて、人を認め共に生きることの大切さを子どもたちに伝えていこうと思いました。(小学校教諭)
- ・ 内田先生の講演は前から聞きたくて、今日はとても楽しみにして参加しました。現在の教育の問題点、社会構造の問題点に対する明快な話が興味深く、聞き入りました。(保護者)

**この講演を収めたDVDを教育センター図書資料室にて貸し出しています！**



「ミネルバ」はローマ神話に由来する学問・知恵を司る女神の名前です。女神の連れているフクロウは知恵の象徴だと言われています。時代が転換していく状況の中で英知をもって飛躍し、そこから新しい時代を切り拓く願いが込められています。



## 公開講座報告

公開講座は研修講座の午後半日に設定されており、受講者以外の先生方も聴講できます。今年度は7本の公開講座を行っています。定員をはるかに超える講座もあり、とても盛況でした。

### 発達障害のある子どものために明日からできること講座（6/27）

愛媛大学教育学部 准教授 吉松 靖文 先生

教室の中で困っている子どもたちが、楽しく学習し、生き生きと生活するための様々な支援の方法について、具体的に紹介していただきました。子どもたちのために「明日からできる」支援の方法を学ぶことができました。



### 小学校・中学校 総合的な学習の時間講座（7/28）

福岡市博物館 事業管理部長 野口 徹 先生

問題意識を揺さぶり、探究への意欲と実践力を高める総合的な学習の時間の学びについて、ご講義いただきました。「マツの気孔の汚れの観察」や「みかんオイルの実験」など、すぐに実践できる授業づくりのヒントをたくさんいただきました。



### 小学校・中学校 特別活動講座（8/8）

法政大学キャリアデザイン学部  
教授 宮城 まり子 先生

キャリアデザインという考え方を中心に、これからのキャリア教育の在り方と、キャリア発達課題を達成させる指導方法について教えていただきました。グループワークを通して、自己理解を深め、価値分析の方法を知ることができました。



### 小学校・中学校 社会科講座（8/20）

文部科学省 初等中等教育局  
教科調査官 安野 功 先生

小学校・中学校社会科の新学習指導要領の要点について、具体的な指導方法を交えながら分かりやすくご講義いただきました。講義後のQ&Aの時間においても、小学校教諭時代の経験を踏まえた的確なアドバイスをいただきました。



### 小学校 国語科講座（8/25）

都留文科大学文学部 教授 鶴田 清司 先生

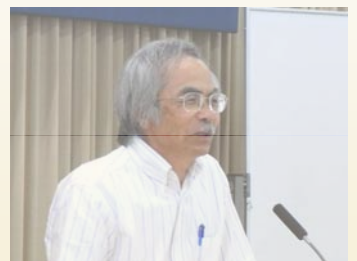
「読解力の向上を図る具体策」として、PISA調査の詳細やいろいろな実践事例等をご講義いただきました。また、「スイミー」の読み比べなどを通して、PISA型「読解力」を高める具体的な指導方法を教えていただきました。



### 中学校・高等学校 英語科講座（9/18）

静岡大学教育学部 教授 三浦 孝 先生

「英語学習への動機を高め、コミュニケーション能力の育成を図る指導法の工夫」について、ご講義いただきました。理論と豊富な経験を基に、実演を交えて、生徒の英語学習への意欲付けやこれからの英語科の方向性について、熱く語っていただきました。



### 小学校 理科講座（10/24）

広島大学大学院 教育学研究科 教授 角屋 重樹 先生

小学校理科の新学習指導要領の要点を踏まえた講義です。基礎的・基本的な知識・技能の習得のさせ方や科学的な思考力・表現力等の能力の育成、問題解決過程における具体的な方法などについてご講義いただく予定です。



## 特色ある学校の紹介(パートⅡ)

### 総合単元的な道徳学習を通して育てる心づくり

白石町立有明南小学校

本校は西に杵島山、東に有明海が広がる地域にある、全校児童 147 名の学校です。

玄関を入ると、ピンクや水色、オレンジのきれいな葉や花いっぱいの大きな4つの木が目にとまります。「あすなろの木コーナー」です。葉や花の1つ1つに「昨日、オリオン座がきれいだった。」「あすかちゃん、遊んでくれてありがとう。」など、毎日の生活の中で感動したことやお礼の言葉が丁寧に書き込まれています。

平成 18 年度より、「心づくり」を教育の重点目標とし、道徳と生活科・総合的な学習の時間との融合を図った体験活動を通して、児童の心の教育に当たってきました。そして、今年度より「総合単元的な道徳学習を通して」とサブテーマを設定し、内容の拡大と深化を目指しています。

具体的にはいくつかの「心を育てる日常活動」を通して、児童の心情面を豊かにしていく取り組みを実践しています。その1つが文頭の「あすなろの木コーナー」です。これ以外にも、野菜作りの様子を撮った写真を貼っていくベジタブルカレンダー、グループエンカウンターを中心とした心タイム、きちんとまっすぐ座る習慣をつける立腰タイムなど、数多くの取り組みを行っています。職員一人一人が必ず1つを担当し、責任をもって様々な活動に取り組むようにしています。

また、玄関前のポーチにはPTAのボランティアで作られた『南っ子ガーデン』という屋根付きの広場があります。ここには手作りのテーブルと椅子が設置しており、児童が縦割り班で給食を食べています。

これらの活動を通して、次第に友達への優しい言葉や励ましの言葉が聞かれるようになりました。また、地域の方への接し方にも感謝の気持ちが表れるようになりました。これからも様々な活動を通して、児童の「心づくり」に取り組んでいきたいと考えています。



あすなろの木コーナー

### 「チャイムと同時に黙想」で基礎・基本の定着

神崎市立千代田中学校

本校は、神崎市の南部に位置し、南東は筑後川を境に福岡県と隣接する地域にある、全校生徒 342 名の中規模校です。

「黙想してください。」授業のチャイムが鳴り始めると同時に、静かな教室に学習部教具係の生徒の声がかかります。チャイムが鳴る2分前には、既に授業を受ける準備が整っています。

平成 17 年度から「学力向上拠点形成事業」の研究校として文部科学省の委嘱を受け、「生き生きと活動する生徒の育成」という研究テーマの下、学力向上に向けて3か年の研究を行いました。研究のスタートに際し、学力を向上させるには生徒の学習意欲の向上が不可欠と考え、一人一人に学習に対する自信をもたせる工夫を中心に取り組みました。具体的には「学習に対する『構え』の確認と徹底」、「研究組織の工夫(研究協力者の活用)」、「生徒の実態に基づく教科の研究方針の確立」、「基礎・基本を定着させるための手立て、意欲的に表現させるための手立て」という4つを柱とし、実践をしました。

この4つの柱の中で、本校の特徴とも言える2つの実践を紹介します。

1つ目の「学習に対する『構え』の確認と徹底」の取り組みでは、生徒の「構え」として「授業の約束」という7箇条を作成し、生徒会広報部と協力して呼び掛けをしました。文頭に紹介した2分前行動と黙想は、この取り組みの1つです。

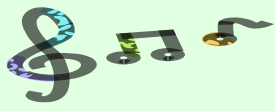
2つ目の「研究組織の工夫」の取り組みとは、それぞれの教科ごとに、他の学校の先生方に「研究協力者」として授業研究会に参加してもらい、授業改善に取り組んでいくというものです。

これらの実践を通して、落ち着いた学校生活と生徒の意欲向上が学力向上のための礎であることが分かりました。これからも様々な実践的研究に取り組んでいきたいと考えています。



教具係の呼び掛け

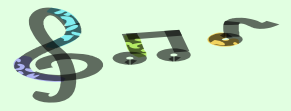
ミネルバでは、これからも特色ある学校を紹介していきます



教育センター

# 知っ得情報

Information



## 教育センターが進める研究

佐賀県教育センターでは、研究調査事業として「プロジェクト研究」と「個別実践研究」という2つの研究を進めています。今年度は以下の研究に取り組んでいます。年度末には、研究の成果をウェブページにてお知らせいたします。また、昨年度までの研究成果も公開しています。授業や教材研究等でご活用ください。



**研究調査**  
教育センター所員の研究・調査を紹介しています

- 佐賀っ子学力向上支援 **NEW**
- 授業に役立つ実践研究**
- 佐賀県教育センター研究紀要

### プロジェクト研究

佐賀県の教育課題や学校の要請を踏まえ、県内の学校の先生方に研究委員としてご協力いただき、プロジェクトチームを組んで、指導の具体的な方策や教育実践に役立つ教材等を提案しています。

- キャリア教育 **【昨年度より継続】**
- 児童生徒が安心できる人間関係づくり **【昨年度より継続】**
- 小中連携を図る特別支援教育の在り方 **【新規】**
- 活用力に培う国語科学習 **【新規】**
- 確かな学力をはぐむ社会科学習の在り方 **【新規】**
- 表現力の基礎を養う英語科学習指導の工夫 **【新規】**



### 個別実践研究

各学校の日々の教育実践に役立つ教材や指導方法の開発など、教育センター所員が実践的研究に取り組んでいます。

- 問題解決力をはぐむ生活科・総合的な学習の時間の研究 **【生活科・小学校総合的な学習の時間担当】**
- 「食育」指導の研究 **【中学校家庭科・高等学校家庭科担当】**
- 対象を立体的にとらえる力を養う指導法の研究 **【図画工作科・美術科担当】**

## あなたのチャレンジが佐賀の教育を変える！

### 教育論文・教育情報コンテンツ募集締め切り迫る！

今年度も以下の要領で教育論文・教育情報コンテンツを募集しています。奮ってご応募ください。

#### 1 募集内容

「教育論文」

校内研究の部 (学校全体で取り組んできた教育実践)

個人(グループ)研究の部 (個人またはグループで取り組んできた教育実践)

「教育情報コンテンツ」

「分かる授業」を構築するために開発されたマルチメディア教材及び学校現場で役に立つソフトウェア作品

#### 2 応募期間及び提出先

市町立の幼稚園及び小・中学校 …… 11月 4日(火)～11月12日(水) 各市町教委へ

県立学校 …… 11月17日(月)～11月25日(火) 教育センターへ

教育論文または教育情報コンテンツを応募票とともに提出してください。

教育センターホームページより「募集要項・応募票」「研究計画の立て方・研究の進め方」

「論文表記上の留意点」「過去の入賞作品」などがダウンロードできます。

**入賞した論文及び教育情報コンテンツは教育センターホームページ上で公開します**



### 編集後記

秋も深まり、学校行事等で慌ただしい日々を過ごされていることと思います。と同時に小・中学校においては、8月末に公表された全国学力・学習状況調査結果を受けて、改善に向けての具体的な取り組みをなされている時期ではないでしょうか。様々な実践事例等についての情報収集には、是非、教育センター図書資料室にある多彩な研究資料をご活用ください。また、所員による専門性を生かした所外援助も行っています。

